

学ぶは進化する？

これからの時代に求められる授業や教科を提案してみよう！

morning

米村彩姫、竹下寧南、楠本愛子

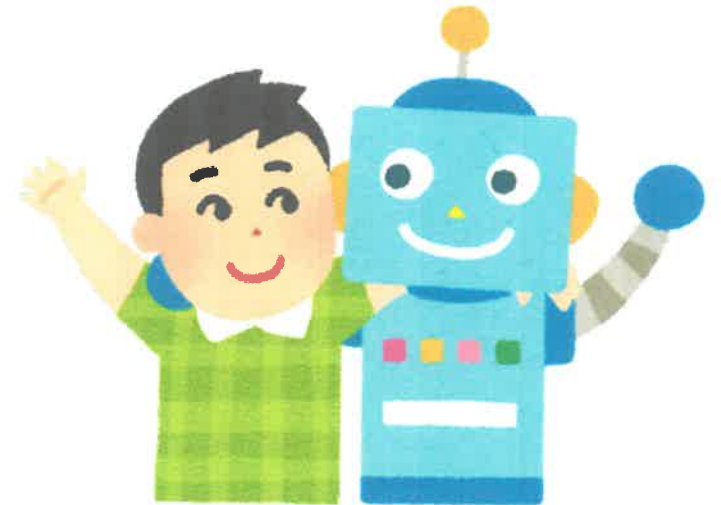
【目次】

①はじめに

②これからの時代に求められる力とは？

- 1.最新技術を使いこなせる力
- 2.洞察力
- 3.新しいものを考え出せる力
- 4.コミュニケーション能力

③まとめ



【はじめに】

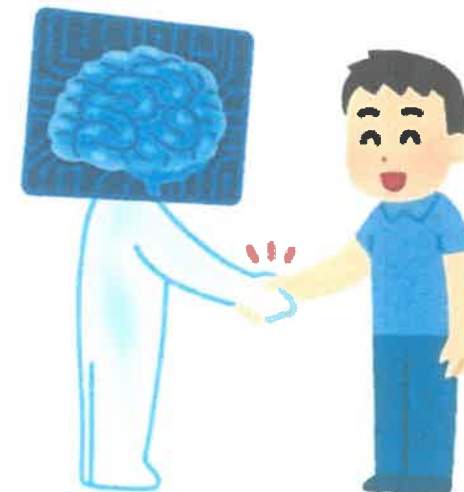
今回のテーマは「これからの時代に求められる授業や教科を提案してみよう！」だったので、私たちは「これからの時代に求められる力とは何か？」「ではその力を身につけるためにどんなカリキュラムが必要か？」ということを考えました。



【AIなどの最新技術を使いこなせる力】 担当:竹下

必要だと考えた理由

これから先もっと幅広く生活の様々な場面で使われていくであろうAIについての知識は最低限必要になってくると考えたからです。さらに、現在でも本当かのようなフェイクニュースなどが溢れているので、それを見抜く力つまり、情報リテラシーも含めて使いこなす力としています。



具体的なカリキュラム

まずはAIなどに触れる機会を増やすために、プログラミングの授業を導入すると思います。小学校で基礎知識は習ったものの、実践については何も知らないままです。休み時間にやっている人もいますが、それでは差が開いてしまいます。みんなに必要な力となってくるので、導入されると良いと思いました。

【洞察力】 担当:米村

近年、子供のスマートフォン所持率が高まっている。さらに、スマートフォンを持っていないとも、家庭共用の端末を使っている場合もあるためその子供たちも含めると、その割合は70%以上にも上る。

インターネットには真実でない情報も紛れている。果たして子供が見極めることができるのだろうか。今では社会的にインターネットで調べて情報を得る機会が増えている。幼いうちから洞察力を身につけておくことは、これからの社会で生きていくために大切だと考えた。

【プレゼンテーション】

テーマについて調べ、自分の主張を伝えるプレゼンテーションを制作する。

(例:バイオマス発電をこれからもっと活発にしていけるべきか。)

1時間目「調べ学習」

班員同士で協力して、「本当に信頼できる記事なのか」を検討しながら情報集め。

あらかじめ教師が信頼できる情報の指標を出しておくことが大切。(例:都道府県の公式HP、みんなが知っている大企業)

→記事の出所から信頼できるか判断する力をつける。

2時間目「プレゼン資料作成」

個人で自分の主張に繋がるようなグラフ、図表をインターネットで入手する。1時間目に使った指標をもとにグラフ、図表についても検討する。

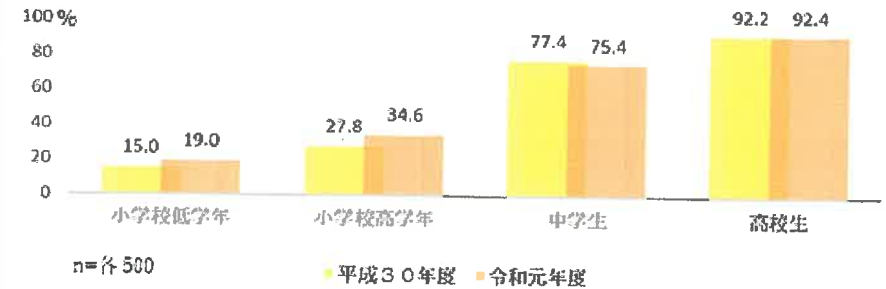
→1時間目の学習を活用し、実生活にも繋がるようにする。

3時間目「プレゼンテーション」

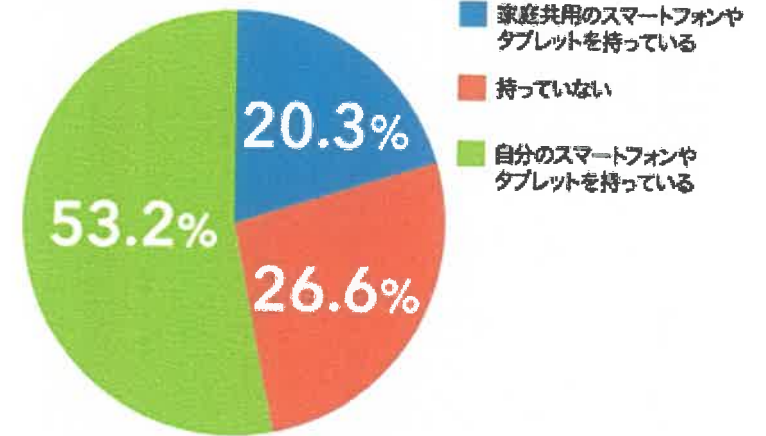
資料を効果的に用いながら主張をわかりやすく伝える。聞き手は、きちんと根拠と主張(理由)が繋がっているかを見る。

→ニュースやブログを見る際に、「文章の内容に資料が繋がっているか」という視点を持って、信頼できるか判断する力をつける。

スマートフォンの所有率



Q あなたはスマートフォンやタブレットを持っていますか?



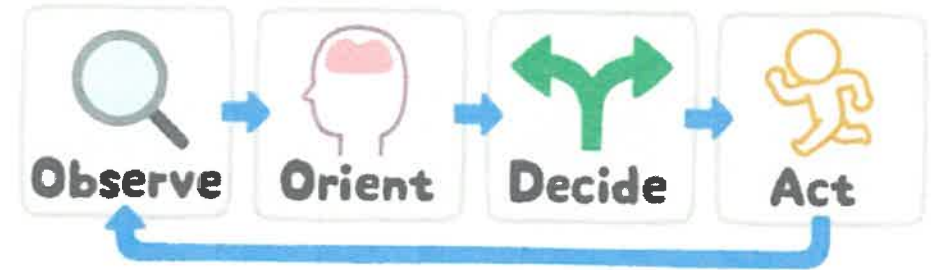
東京都公式ホームページ、Benesse公式ホームページより

【課題を発見し、順次立てて解決方法や新しいものを考え出せる力】

担当:竹下

必要だと考えた理由

AIが普及しているのに伴い、日本の労働人口の49%がAIで代替できると言われています。それならば、AIの苦手とするoから何かを生み出す力が必要だと考えたからです



「OODAループ」とは、前述した「観察する」「判断する」「決定する」「行動する」の四つを繰り返すこと

具体的なカリキュラム

OODAサイクルの活用を促すために、日頃から課題を発見できるように場を設定されると良いのではないかと思います。例えば月に一回程度の頻度で発明コンテスト(例・市村アイデア賞など)を開催したり、自由研究の課題を全員で共通させてどう解決していくのかを考える場など、自分で課題を発見、解決することに慣れることができる機会があるといいと思います。

【コミュニケーション能力】

担当:米村

「若年者の就職能力に関する実態調査」の結果概要

今は就職の際、学歴よりも「コミュニケーション能力」が重視されている。
 しかしグラフを見てみると、特に若年層にいわゆる「コミュ障」(コミュニケーションが苦手な人)が多いことがわかる。これは、急速なインターネットの普及でメッセージツールを通じた、「対面ではない」コミュニケーションが増加したからではないかと考えられる。

【カンパセーション】

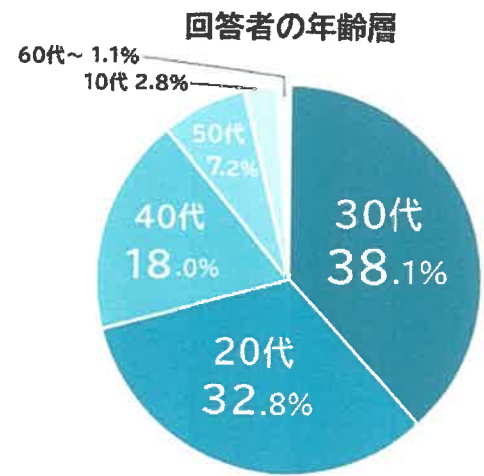
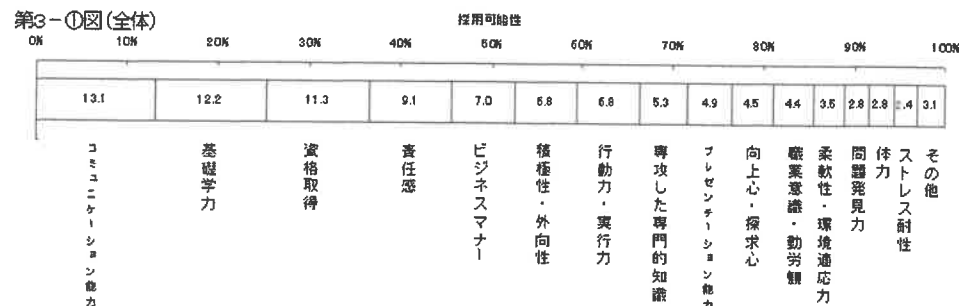
教師が毎回トピックを提示し、そのトピックについて4人組で会話する。(10分程度)

(例:今日の朝ごはん)

そのトピックから発展させて話してもいい。

グループは毎回席順を動かしてと違う相手とできるようにする。

→普段は話さない人と話すことで、その後の交友関係の入口を作る。それによって色々な人と関わったという「経験」を作る。



コミュニケーションが苦手な人1,000人へのアンケート調査 n=1,000

厚生労働省公式ホームページ、Biz Hits公式ホームページより



Aさん

私は今朝カレーだったんだあ。やっぱ二日目のカレーはうまい！



Bさん

僕も昨日カレー食べた！KuKu式番屋で食べたんだけど、期間限定の特大大カツカレーがめっちゃ美味しくてさ～



Cさん

え、俺も先週末に行ったー。ていうかAさんってカレーとか好きなんだ！意外だったかも。

【まとめ】

[米村]

今回、「これからの時代に求められる力」を考えていく中で、インターネットの普及にはいい側面と悪い側面があることに気がついた。

私たちはインターネットに助けられている部分もあれば、奪われている部分も間違いなくある。それを補うために「自ら行動していく」力。それが1番大切な力ではないかと思った。今回は「洞察力」と「コミュニケーション能力」の面を補う授業を提案したが、結局その力を身につけるために行動するのは「自分」なのだ。

[竹下]

今回考えていくにあたって、今自分が持っている力ではまだ足りない部分が多いと感じました。米村さんも書いていましたが、自分で考えて行動に移すことが1番大切だと考えたので、たとえ私たちが提案した授業が実践されなくても、自分で意識して力を身につけて行きたいと感じました。

企画、提案:米村、竹下
文章監修等:楠本